



『こうもり』

アヤ井 アキコ || 作 福井 大 || 監修
偕成社

夕暮れ時に、空を飛んでいるこうもりを見たことがありますか？ こうもりは、どんな暮らしをしているのでしょうか。この本では、都会に住むアブラコウモリについて、体重から、えさの取り方、超音波を使ってのおしゃべり、冬眠など、驚きの生態を紹介しています。

優しいタッチの可愛い絵で、こうもりを少しでも身近に感じられるかもしれません。

図書館おすすめブックリスト

2022年12月発行
編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで  フル充電!!

No.19 幼児むけ

『あかいてぶくろ』

林 木林 || 文 岡田 千晶 || 絵
小峰書店

ちびちゃんが大切にしている赤い手袋は、右と左がいつも一緒。ある日、ちびちゃんは右の手袋をなくしてしまいます。最初に見つけたきつねは、そっと枝にかけておきました。それをうさぎがひろって…。持ち主が次々と変わり、ほころびながらも、手袋は最後までだれかをあたためてくれます。

ぬくもりあふれる絵が、読む人にやすらぎを与えてくれるお話です。



『おばあちゃんのたからもの』

シモーナ チラオロ || 作 福本 友美子 || 訳
光村教育図書

今日はおばあちゃんの誕生日！でも、おばあちゃんの顔はうれしい顔や悲しい顔、色々な表情が混ざっているみたい…。それは、しわがたくさんあるからなんだって。

しわは大事な思い出がしまっている宝物で、おばあちゃんはそのいろいろな思い出を一つ一つ話してくれました。2人のやりとりで心が温くなる1冊です。



『おふろ こねこのきょうだいかぞえうた』

石津 ちひろ || ぶん 石黒 亜矢子 || え
BL出版

「ひとつ ひよいひよい ふくぬいで」「ふたつ ふらふらフラダンス」…と、思わず一緒に歌いたくなる、おふろの数え歌絵本です。石黒さんが描く、ちょっぴりいたずらなねこたちのしぐさがキュートで、見ているだけでほのぼの気分になります。

「こねこのきょうだいかぞえうた」シリーズは、『おやつ』『おやすみ』もあるので、リズムにのって数え歌を楽しみましょう。



『ここからおいしいよかんがするよ』

たな || え・ぶん
パイインターナショナル

オレンジいろのおべんとう箱を、じっと見つめる男の子。おべんとう箱から、おいしいよかんがする！ ぱかっとな開くと、おにぎりや、ふっくらたまごやき、ミートボール…おいしそうなのがぎっしり。

リボンのかかった箱や、グラタン皿、重箱など、おいしいよかんのするものが、他にもたくさん出てきます。おながかなる「よかんがする」、しかけのある絵本です。



『こんとごん てんてんありなしのまき』

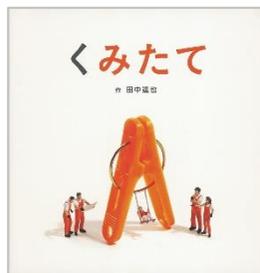
織田 道代 || ぶん 早川 純子 || え
福音館書店

こんは「こんこん、とんとん」、ごんは「ごんごん、どんどん」、ドアをたたく。「すいとう」と「すいどう」、「たいや」と「だいや」、「からす」と「がらす」…。てんてんがあるかないかで、2匹のキツネの物語は全然ちがうおはなしになります。

日本語のおもしろさを、物語と絵で楽しく感じてみましょう！

『くみたて』

田中 達也 || 作
福音館書店



分解されたパーツを、ミニチュア作業員たちが組み立てています。せんたくばさみはブランコに、メガネはプールになって、私たちの身近にあるものが、小さなミニチュアの世界では、別のものに大変身！

生き生きとしたミニチュア作業員たちの生活が楽しく、「組み立て」と「見立て」に想像力を刺激される写真絵本です。

『ふしぎなかさやさん』

たなか 鮎子 || 作
講談社



雨が嫌いなレミがふしぎな傘やさんに入ると、黒猫が傘を薦めてきました。傘を開くと色鮮やかな世界が次々飛び出し、レミは夢中になります。ところが、黒色の傘を開くと「よるのあらしのせい」が飛び出して大変なことになってしまい…。

魔法のような世界で、レミと一緒に雨の冒険を楽しんでみませんか？



『まよなかのおしっこ』

さいとう のぶ || 作
KADOKAWA

夜中におしっこに行きたくなって目が覚めてしまったばく。一人で行くのこわいなあ。ドアを開けたら、上からおばけが落ちてくるんじゃないかな。電気のスイッチを押したら、壁から手がニューツと出てくるかも…。さて無事トイレに行けるかな？

「夜のトイレ」はちょっとした冒険です。怖がりさんも、勇気を出して最後まで読んでみよう！



『たびするてんとうむし』

イザベル・シムレール || 文・絵 石津 ちひろ || 訳
岩波書店

てんとうむしは、安心して卵を産む場所を探して旅立ちます。枝にそっくりなナナフシがいたり、バラのトゲに似たトゲツノゼミに追い払われたり、旅は危険がいっぱい！それでも最高の場所を見つけるため、てんとうむしはあきらめずに旅を続けます。

緑の田園風景や葉や花などに擬態する虫たちが、躍動感いっぱい描かれた、生命力あふれる絵本です。